思考を促す道具として活用した実践事例２

小学校４年　社会科『きょうどを開く』

学校名　周東町立高森小学校
指導者　福屋　憲道

【学習指導におけるコンピュータ等の活用メリット】

・一人一人がコンピュータでビデオを見ることにより、様々な角度から思考することができる。
・デジタルカメラのビデオ撮影機能を活用することにより、身近な地域に密着したビデオを容易に活用することができる。

【コンピュータ等を活用するための事前準備】㊎教師の事前準備㊐児童の事前準備

㊐メディアプレイヤーが使えるようにしておく。（停止・プレー・巻き戻し）
㊎デジタルカメラで撮ったビデオを教師用のコンピュータに保存しておく。
㊎児童のデスクトップにビデオが保存されたフォルダのショートカットを作成しておく。

【単元指導計画（総時数　１０時間）】

単　元　の　目　標			
(1)地域の発展に尽くした先人の働きや努力に共感することができる。 (2)地域の発展に尽くした先人の働きから開発の意味を考えることができる。 (3)多角的に資料を活用することにより、先人の工夫や努力を理解することができる。			
次・時	**学　習　内　容**	**使用機器等**	**機器活用の具体的な方法**
第一次①	お米を育てる場合に必要なものを調べる。		
第二次②	鹿野台地の特徴を調べる。		
第三次④ 3/4	鹿野町を救う方法を考える。 ビデオで水のトンネルの長さと大きさを調べる。	コンピュータ メディアプレイヤー	デスクトップ上のフォルダーをダブルクリックして、見たいビデオを選ぶ
第四次③	高森の発展に尽くした先人の働きについて調べる。		

【機器活用時実践記録】

【平成１４年１１月２８日】

次　・　時	第三次・１／４時
ね ら い	潮音洞の穴の大きさをビデオで調べることにより、先人の努力と工夫を理解することができる。
場　　所	コンピュータ室（７台）・・・使用した台数

○学習活動（２５分） ・学習内容 支）教師の支援	**ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ等の活用携帯 提示**	**班**	**個別**	**○児童の活動の様子や反応**
○潮音洞の穴の大きさを予想してそれぞれのよい点悪い点を発表する。（２０分） ・穴の大きさと作業効率 ３つの穴の大きさから選ぶ 立って作業できる穴の大きさ 座って作業できる穴の大きさ 寝て作業できる穴の大きさ 支）穴の大きさに焦点をしぼることにより、ビデオを見る観点を明確にさせる。				
○ビデオを見て、潮音洞の穴の大きさを確定し、新聞で潮音洞と同じ大きさのものを作る。（２５分） ・実物大の大きさの確認 支）実物大の大きさを再現することにより、さらに見る視点を明確にさせる。 支）潮音洞のそばに、「きょうど山口」を置いたビデオも用意しておく。				○ビデオを見て、座って作業する大きさであることに直感的に気が付いた。 ○潮音洞の洞窟を新聞で再現することで、ビデオを見る視点をしぼることができた。 ○ビデオを見る視点を大きさだけにしぼりすぎたため、他の情報についての気付きや考えが出せなかった。 ○ビデオで見た感じと実際に作ってみた潮音洞の大きさには、違いがあり驚いていた。 ○ビデオに映っている「きょうど山口」から正確な潮音洞の大きさを割り出した班が、２班ほどあった。

考　察	○ビデオ教材を皆で見て検討することにより、様々な考えを引き出すことができ思考を深めることができた。 ○課題意識を持って、ビデオを見ることができたので、積極的に調べることができた。